

特集



# シンガポールで「ふくしまの米」 「県産モモ」を販売

## ◆試食販売編

7月29日(水)から8月2日(日)の5日間にわたり、シンガポールの明治屋において、「ふくしまの米」と「県産モモ」の試食販売を実施しました。

これは、福島県の輸出推進事業の一環として昨年に引き続き開催されたものです。「明治屋シンガポール」は日本の高級スーパーマーケットである明治屋の100%子会社の現地法人で、日本製の食品・雑貨等の品揃えが非常に充実しており、現地の日本人御用達の高級店です。販売したのは、「ふくしまの米 会津コシヒカリ」2kgを18.5SGドル(1,700円)と5kgを42.5SGドル(3,930円)で、試食の評価は良好でした。2kgは早々に完売いたしました。現地の日本人は夏休みの帰国時期のため、5kgの販売は苦戦しましたが、最終日まで

には全て完売しました。

また、同時に販売された県産モモの「あかつき」は、15玉2個パック25.8SGドル(2,380円)、16玉2個パック19.8SGドル(1,830円)を販売。日本国内からすると、高い価格設定でしたが、日本人や中国人を中心にまずまずの売れ行きとなりました。

試食された方からは、「みずみずしくて甘い」「こんな美味しい桃たべたことがない」などの評価をいただき、なかには、5パックまとめ買いをされる方もいらっしゃいました。

期間中の7月31日(金)には、畠利行副知事とJA全農福島の佐藤裕之副本部長によるトップセールスが同店で行なわれました。

## ◆県PRセミナー編

7月31日(金)には「グランド・コブソン・ウォーターフロント・ホテル」で、福島県主催の県産品輸出拡大に向けたPRセミナーが開催されました。食品関係のバイヤー、ホテルや日本料理の関係者、メディア関係者等を招待しました。

セミナーでは、福島県の畠利行副知事が「県産品の安全性に対する取組み、検査体制の状況や魅力」について講演をいたしました。また、JA全農福島の佐藤

裕之副本部長が「ふくしまの米・県産モモ、福島牛」の紹介をし、続いて末廣酒造の担当者から「福島県産酒」のPRをしました。

試食・試飲会では出席者から、県産モモの「あかつき」、「ふくしまの米コシヒカリ」、福島牛、県産酒を味わい「福島のおいしい」との声がたくさん聞かれました。



①モモの試食販売をする畠副知事  
②売り場に陳列された福島のもも  
③現地の人にも好評だった試食  
④～⑤米の特設売り場の様子  
⑥～⑧試食試飲会の様子  
⑨セミナーの最後に参加者で「福島を食べよう!!」のシュプレヒコール